



【発行所】  
独立行政法人国立病院機構 岩手病院  
岩手県一関市山目字泥田山下48  
Tel : 0191-25-2221  
Fax : 0191-25-2157  
https://iwate.hosp.go.jp/  
発行責任者 齋藤 桂一

## 令和5年度 看護師特定行為研修開校式

看護部長 黒澤 みゆき

当院は2021年6月に第一回看護師特定行為研修を開講し、今年で3回目の開講式を迎えることができました。看護師特定行為研修は、2025年に向け更なる在宅医療等の推進を図って行くためには、個別に熟練した看護師のみでは足りず、医師の判断を待たずに、手順書により、一定の診療の補助を行う看護師を養成し、確保していくことを目的としています。当院は、呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連と、ろう孔管理関連の2区分の特定行為の研修施設となっており、現在まで呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連、ろう孔管理関連併せて5名の修了者が従事しています。今後も更に増やしていき、看護の視点で患者さんの生活を支える事ができる看護師を育成していきたいと考えています。研修生は岩手県内だけでなく、秋田県、青森県からも参加しており、東北管内全てが抱える医師不足、また医療人材不足の問題に少しでも貢献できる事を願っております。

当院では、看護師特定行為修了者は紺色のユニフォームを着用し、それぞれ病棟の入院患者さんの処置を実践しています。患者さんからは、いつもの優しい看護師さんが処置を担当してくれ、説明も丁寧にしてくれると、評判も上々です。病棟スタッフからも処置に関する専門

的な知識や技術、またトラブル発生時の観察の仕方や対処法など、看護師同士で聞きやすいと頼りにされています。新採用者研修の講義や、人工呼吸器管理の講義、人工呼吸器管理に関する様々な問題の解決に向けた活動も行っていきます。

今後の課題は、在宅で生活されている患者さんへも広げていけるよう、医師と連携し、技術力を磨きながら、体制整備を図っていきたくと考えています。当院の核としての医療看護全体のレベルを上げていく存在です。今後も更に研修修了を増やし、地域で活躍できる人材を育成していけるよう努力して参ります。



## 令和5年度 永年勤続表彰式

庶務係長 兎澤 巧

令和5年7月27日、今年度の永年勤続表彰伝達式が執り行われました。

今年度は永年勤続30年以上表彰者1名(松井大輔 専門職)、20年以上表彰者が2名(大石ひとみ 理学療法士長、齊藤祐 看護師)おり、堅山院長よりお一人ずつ表彰状と記念品が授与されました。

院長からこの20年、30年の間には、国の政策医療の変換期で、その後には独立行政法人に移行となり、近年では東日本大震災や新型コロナウイルスなどに見舞われながら、岩手病院では病棟建替・移転なども続き、激動とも言える時代を乗り越える原動力となって働いていただいたことへの御礼と今後の更なる活躍に期待を込めた式辞がありました。

また、永年勤続職員を代表し、大石ひとみ理学療法士

長から長年無事に勤務することができたのは職員皆様のご支援があったことやこれまでの経験を活かしながら業務に励みたいと御礼並びに今後の抱負を交えた謝辞が述べられました。

あらためて受賞された皆様、おめでとうございます。今後も岩手病院の発展にご協力くださるようお願いいたします。



齊藤 祐 看護師 (下段左から2番目)  
大石ひとみ 理学療法士長 (下段左から3番目)

## リフレッシュ研修を終えて ～感染対策万全でリフレッシュ!!～

教育担当看護師長 阿部 良江

6月29日に新人看護師のリフレッシュ研修がありました。

入職して3カ月が過ぎるこの時期は心身ともに疲労が生じます。新人看護師にとって辛いこの時期に同期で集まり心身のリフレッシュを目的にした研修を毎年行っています。グループワークやゲームを行いながら悩みや思いを共有しリフレッシュすることで仕事への意欲に繋がることが目標にしています。新型コロナウイルスの流行のためここ数年間は院内のみの研修に制限していましたが、5類になった今年度から感染対策の徹底を行ったうえで院外研修を再開しました。密にならない場所や時間を考慮し、なおかつ新人看護師が仕事を忘れて気分転換できる内容にしました。今年度は厳美溪のサハラガラスパークで制作体験を行う事にしました。新人看護師に「今年は院外で研修を行います。」と伝えたときは皆が笑顔になりました。日頃現場で緊張し張り詰めているため、

職場を離れて気持ちをリフレッシュする研修は必要なのだと思います。

研修は二部構成にし、第一部は院内でグループワークを行い、第二部は厳美溪で製作体験や周辺探索を行いました。グループワークでは三カ月間の自分を振り返り、頑張ったことや悩みなどの様々な思いを語り合いました。厳美溪へは私服に着替えバスに乗って移動しました。まるで小学生の遠足のようなワクワク感でしたが、マスク・手洗い等の感染対策を徹底し社会人としての規範を学ぶいい機会ともなりました。同期みんなと同じ時間を過ごし自分たちの思いを共有する中で、「悩んでいるのは自分だけじゃない。明日からまたみんなで頑張ろう」という前向きな言葉が聞かれました。私は教育担当看護師長として研修に同行しましたが、新人看護師からたくさんの元気をもらいました。新人看護師たちの笑顔や元気を患者さん方への看護に繋げるためにも今後も定期的に語り合いリフレッシュできる研修を行いたいと思います。



# 学会に参加して「～在宅人工呼吸療法における臨床工学技士の介入について～」

## 臨床工学技士 及川 秋沙

皆さんは、臨床工学技士 (Clinical Engineers: CE) の存在をご存知でしょうか？

現代医療において、医療機器は高度化・複雑化が進んでおり、取扱いや管理方法に難渋することも少なくありません。そんな医療機器を安全に、そして正しく使用できるように、管理や操作を行うのが臨床工学技士です。医療機器を自宅や施設など病院以外で使用する機会が増加し、機種や使用方法も多様化していることから、在宅医療の分野においても臨床工学技士の存在が注目されています。



当院では、2006年から在宅人工呼吸療法業務を開始し、訪問診療の同行や、人工呼吸器や在宅酸素療法機器の安全な使用方法について説明を行うなど、積極的に介入しています。しかし、全国的にみると在宅医療に介入する臨床工学技士は非常に少なく、医療機器の安全管理が課題となっています。

6月24日に「第5回日本在宅医療連合学会大会 (新潟県)」、7月22日に「第33回日本臨床工学会 (広島県)」が開催され、在宅人工呼吸療法に介入する臨床工学技士として、講演の機会をいただきました。



在宅医療における当院の取り組みや、臨床工学技士の役割、介入によってどのようなメリットがあるか、などについて講演しました。学会に参加された訪問診療医の先生方からは、在宅医療に臨床工学技士を求める声をいただきましたし、同じ臨床工学技士の方からは在宅医療に介入する必要性を感じたという声や、どのように介入したらよいかといった質問も多く寄せられ、在宅医療への関心の高さを実感しました。

医療機器の取扱いには、患者様やご家族だけでなく、地域の訪問看護師さんなど多くの方が不安や心配を抱えているのではないのでしょうか。私たち臨床工学技士は、患者様と医療機器の架け橋として、不安に寄り添い、安全にご使用いただけるよう、今後も取り組んで参りたいと思います。

## 新職員紹介 ①出身地 ②好きなこと ③何か一言

新たに岩手病院に異動・採用された職員です。どうぞよろしくお祈りします。

### 令和5年6月1日 採用



こんの みか  
**金野 美佳**  
保育士

- ①一関市千厩町
- ②ストレッチ、子供とおやつ作り
- ③初めての病院勤務となります。たくさんの笑顔を見られるように一緒に楽しみたいです。

### 令和5年7月1日 異動



あべ ゆうこ  
**阿部 祐子**  
看護師

- ①宮城県気仙沼市
- ②手の込んだお菓子や料理を作ること
- ③育児休業からの復帰になります。1日も早く病棟に馴染めるように頑張りたいと思います。

### 令和5年7月1日 採用



ささき えみ  
**佐々木 恵美**  
事務助手

- ①宮城県石巻市
- ②ドライブ、スタンドグラス作り
- ③石巻市からの車で通勤していますが、一関に来るまでの景色の美しさに毎日癒されています。

### 令和5年8月1日 採用



おのでら まゆ  
**小野寺 真結**  
保育士

- ①岩手県奥州市
- ②美味しいものを食べる、映画鑑賞
- ③至らない事もあるかと思いますが、少しでも早く慣れ、皆さんと共に頑張りたいです。

## 七夕会「笑顔の中で」

療育指導室室長 箱石 悟

七夕は別名「笹の節句」とも呼ばれ、願いを書いた短冊を笹竹に飾るとされています。また、彦星と織姫が年に一度出会える特別な日です。みなさんはそんな日にどんな願い事をしたのでしょうか。

あすなろ病棟のみなさんは季節行事を、とても楽しみにしています。その中でも、七夕会は一年で一番はじめて行われる行事なので職員にとっても特別な行事といえます。当病院では7月6日に「七夕会」を行いました。

新型コロナウイルス感染症が5類に分類された今年ですが、以前のように全病棟が集まることは難しく、昨年に引き続き重症心身障がいの各病棟での開催となりました。

七夕会では「制作活動」「劇」「お楽しみおやつ」を行いました。

七夕の飾りの七つ道具は「短冊」「紙衣」「巾着」「投網」「折り鶴」「屑籠」「吹流し」があります。飾りにはそれぞれ意味があるのですが、短冊の色にもそれぞれ意味があるをご存知でしょうか。

「赤」=礼 「青」=仁 「黄」=信 「白」=義 「紫」=智 の五徳に対応しているとされています。制作活動では、様々な色の短冊を用意して書いていただきました。家族への思いやこれからやりたいことなど、自分の願いに近い色を職員と選んで、会話をしながら楽しそうに書く様子が見られました。

劇では、誰もが知っている七夕の話が、職員が衣装を着けて演じることで新鮮なものとなり、みなさんが笑顔で見入っているようでした。体調面からプレイルームに集まることができなかった病棟もあったのですが、彦星と織姫が各病室を訪れ歌や劇を披露してくれました。

衣装を着た職員に「誰だろう?」と不思議そうな表情になる方、すぐにわかって大喜びする方など様子は様々でしたが、一人ひとりに声をかけて短いながらも楽しい時間を過ごすことができました。

今年のおやつは「溶けないアイス」でした。五つの味を用意したので、食べたい味を選ぶ楽しみもあったようです。慎重に選びすぎてなかなか決められないでいる方もいらっしゃいましたが、冷たい食感と甘い味に、みなさん満足げな表情をうかべていました。

各病棟での開催ではありましたが、みなさんの笑顔に触れることができ今年も季節行事が無事行えたことに感謝する一日でした。



### 令和5年 人事異動 (5月2日~9月1日)

【令和5年6月1日付】採用  
金野 美佳 保育士

【令和5年7月1日付】採用  
佐々木恵美 事務助手 (非常勤)

【令和5年6月30日付】辞職  
山本由仁香 看護師

【令和5年8月1日付】採用  
小野寺真結 保育士

【令和5年7月1日付】配置換  
阿部 祐子 看護師  
仙台西多賀病院から

【令和5年8月31日付】辞職  
熊谷 靖彦 業務技術員 (非常勤)  
佐々木恵美 事務助手 (非常勤)

【編集後記】 今年も、各地で夏まつりが再開して熱気いっぱい!!そして毎日暑くて「アチ、アチ (郷ひろみ・GOLDFINGER '99)」の夏でしたね。みなさまはどんな思い出ができましたか?

この「熱・暑 (あつあつ) パワー」を「スマイルパワー」に変換して患者様をお迎えし、ますます素敵でHOT (ほっと) する岩手病院にして参りましょう。(ちなみに郷ひろみさんは、67歳だそうです。お若い!) (T)